

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（2017年7月31日設定）	
運用方針	<p>ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

第14期（決算日：2024年6月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）」は、去る6月10日に第14期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

期間の初めから2024年3月末にかけては、米利下げ期待の後退などによる米長期金利の上昇が逆風となりましたが、AI（人工知能）の需要拡大が期待されたことを受け、半導体関連株を中心に株価は上昇基調となりました。その後、4月に入ってから米消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を上回ったことなどから、米利下げ期待が後退し株価は下落に転じました。5月以降、米長期金利の上昇が一服したことや、米半導体大手をはじめとする堅調な企業決算が下支えとなり、株価は反発しました。

当期間はAIや半導体関連など大手ハイテク株が株式市場の上昇を主導する相場展開でした。消費関連やディフェンシブ性の高い銘柄群が総じて軟調だったことが、ビューティー・ビジネス関連銘柄にマイナスに影響しました。

運用のポイント

高いブランド力と、ラグジュアリーブランド化粧品事業での成長も期待される「HERMES INTERNATIONAL」を新規に組み入れました。化粧品は同社のブランドイメージを表現しやすく、またバッグなどに比べて手の届きやすい価格帯のため、新たな顧客にブランドをアピールするツールとしても優れています。同事業の積極展開は、他事業にもプラスの影響をもたらすと考えています。また、世界的な高いブランド力や成長性などを重視し、引

き続き「COTY INC-CL A」、「LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI」などの欧米有力化粧品メーカーの上位組み入れを維持しました。

運用環境の見直しおよび今後の運用方針

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向け商品の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。足元のようにAIや半導体が注目される局面では、世界株式市場に対して当ファンドのパフォーマンスが劣化する局面はあるかもしれませんが、それはビューティー市場の魅力に変化があったことを示しているわけではありません。ビューティー市場自体は今年に入ってから堅調に伸びていますし、今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと組み入れていると考えています。



株式運用部
ファンドマネージャー

秋元 政隆 西 直人 柳原 武士 飯田 太郎 小島 直人 安井 陽一郎

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組入比率	株式先物比率	純資産額
		税金 分配	み 騰	期 落			
	円	円	騰	率	%	%	百万円
10期(2022年6月9日)	8,448	0	△15.5	97.9	—	4,712	
11期(2022年12月9日)	8,659	0	2.5	99.0	—	4,715	
12期(2023年6月9日)	8,644	0	△0.2	97.4	—	4,439	
13期(2023年12月11日)	8,001	0	△7.4	97.4	—	3,860	
14期(2024年6月10日)	8,014	0	0.2	98.6	—	3,298	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組入比率	株式先物比率
		騰	落		
(期首)	円	騰 <td>率</td> <td>%</td> <td>%</td>	率	%	%
2023年12月11日	8,001	—	97.4	—	—
12月末	8,245	3.0	96.3	—	—
2024年1月末	8,262	3.3	97.0	—	—
2月末	8,445	5.5	96.6	—	—
3月末	8,474	5.9	97.1	—	—
4月末	8,087	1.1	97.7	—	—
5月末	7,953	△0.6	97.1	—	—
(期末)					
2024年6月10日	8,014	0.2	98.6	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第14期：2023年12月12日～2024年6月10日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第14期首	8,001円
第14期末	8,014円
既払分配金	0円
騰落率	0.2%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.2%の上昇となりました。

▶ 基準価額の変動要因

上昇要因

組入銘柄（L'OCCITANE INTERNATIONAL SA、COLGATE-PALMOLIVE CO、PROCTER & GAMBLE CO/THE）の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。

第14期：2023年12月12日～2024年6月10日

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

期間の初めから2024年3月末にかけては、米利下げ期待の後退などによる米長期金利の上昇が逆風となりましたが、AI（人工知能）の需要拡大が期待されたことを受け、半導体関連株を中心に株価は上昇基調となりました。その後、4月に

入ってからは米消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を上回ったことなどから、米利下げ期待が後退し株価は下落に転じました。5月以降、米長期金利の上昇が一服したことや、米半導体大手をはじめとする堅調な企業決算が支えとなり、株価は反発しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。

化」などに着目した運用を行いました。通貨別では、日本円などの比率を引き上げた一方、米ドルや香港ドルなどの比率を引き下げました。組入銘柄数については、期間の初めの35銘柄から期間末は34銘柄となりました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム

主な銘柄入替は以下の通りです。高いブランド力と、ラグジュアリーブランド化粧品事業での成長も期待される「HERMES INTERNATIONAL」を新規に組み入れました。高いブランド力を誇る企業の成長性や、近年買収した複数ブランドのグローバル展開などを期待し保有していましたが、2024年4月に株式の非上場化を発表した「L'OCCITANE INTERNATIONAL SA」を全売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。

（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第14期
	2023年12月12日～2024年6月10日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	357

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジあり）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした

様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

特定の肌の悩みを持つ人への価値提案を指すダーマケアは、多くの化粧品メーカーが注目している市場です。現在、肌の悩みを抱えている人が世界に約20億人もいるとされています。今後、高齢化や大気汚染、ストレスなど肌トラブルを引き起こす要因が増えることで、肌への悩みも増えると考えられます。そのため肌の悩みに合わせたダーマトロジー（皮膚科学）に基づく化粧品（ダーマコスメ）は、ビューティー市場において成長が見込まれる領域と考えています。例えば、ロレアル社は2023年、主要4事業セグメントの1つである「アクティブコスメティックス」の事業セグメントの名称を「ダーマトロジカルビューティ」に変更しました。事業セグメントの名称にはその会社の想いや戦略が込められていることが多く、ロレアル社がダーマコスメを中長期で推進していく想いが伝わってきます。ロレアル社のダーマコスメの主力ブランドであるCeraVeとラロッシュポゼは、いずれも年間売上高が10億ユーロを超えており、足元でも高い成長が続いています。日本でも、2023年に資生堂のdプログラムやロート製薬のプロメディアルが、ブ

ランドのリブランディングやリニューアルをして活性化を図ったり、ロート製薬がダーマセプトRXという新ブランドを立ち上げたり、花王のキュレルは新商品発売などで主力のスキンケアやヘアケアを強化しつつ、加えて衣料用柔軟剤を発売するなど乾燥性敏感肌向けのトータルブランドへと歩みを進めたりと、多くの化粧品メーカーが力を入れている領域です。さらに、ダーマコスメではその効果効能や機能性が重視されるため、以前に増して素材メーカーの存在感の高まりや、美容医療や再生医療などの領域への広がりも期待できるなど、裾野の広い成長領域として今後も注目していきたいと考え

ています。

株式市況について、足元のようにAIや半導体が注目される局面では、世界株式市場に対して当ファンドのパフォーマンスが劣化する局面はあるかもしれませんが、それはビューティー市場の魅力に変化があったことを示しているわけではありません。ビューティー市場自体は足元でも堅調に伸びていますし、今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと発掘していきたいと考えています。

2023年12月12日～2024年6月10日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	74	0.897	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(36)	(0.438)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.438)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.055	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(5)	(0.055)	
(c) 有価証券取引税	1	0.017	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.017)	
(d) その他費用	2	0.021	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	82	0.990	

期中の平均基準価額は、8,204円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

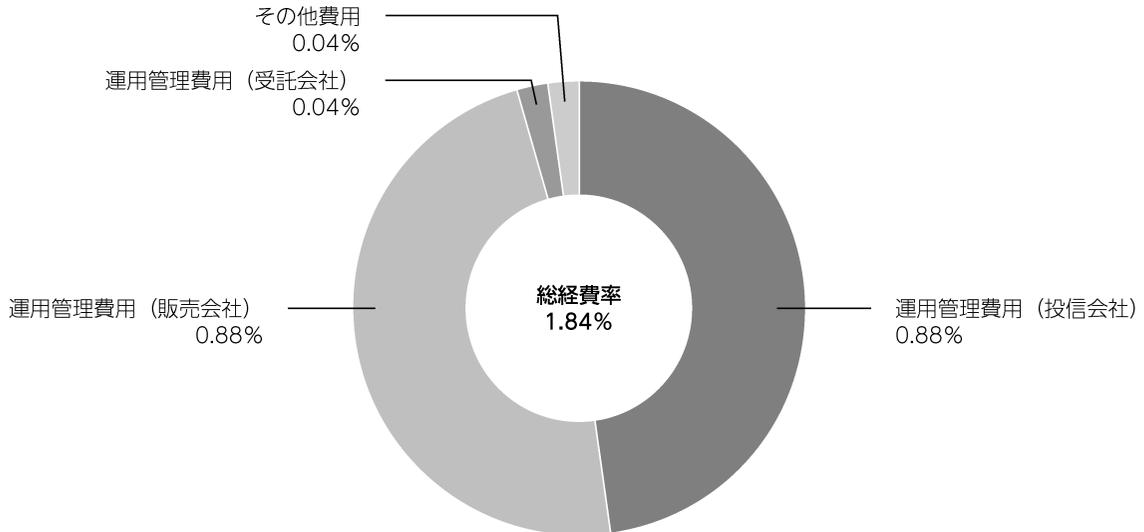
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.84%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年12月12日～2024年6月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 40,204	千円 80,000	千口 488,176	千円 978,060

○株式売買比率

（2023年12月12日～2024年6月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ビューティー・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	12,956,407千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	26,749,427千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.48	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2023年12月12日～2024年6月10日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替先物取引	百万円 8,646	% 45.4	百万円 18,210	百万円 8,503	% 46.7	

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 -	% -	百万円 9,147	百万円 187	% 2.0	
為替直物取引	499	27.9	7,385	5,239	70.9	

平均保有割合 13.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,996千円
うち利害関係人への支払額 (B)	18千円
(B) / (A)	0.9%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年6月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	2,045,901	1,597,928	3,286,299

○投資信託財産の構成

(2024年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	3,286,299	98.2
コール・ローン等、その他	60,414	1.8
投資信託財産総額	3,346,713	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（22,098,057千円）の投資信託財産総額（26,002,511千円）に対する比率は85.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=157.01円	1 ユーロ=169.23円	1 イギリスポンド=199.72円	1 スイスフラン=175.06円
1 香港ドル=20.10円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年6月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,068,580,468
コール・ローン等	59,509,723
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	3,286,299,679
未収入金	2,722,770,963
未収利息	103
(B) 負債	2,770,360,390
未払金	2,735,864,114
未払解約金	1,820,712
未払信託報酬	32,613,978
その他未払費用	61,586
(C) 純資産総額(A-B)	3,298,220,078
元本	4,115,363,006
次期繰越損益金	△ 817,142,928
(D) 受益権総口数	4,115,363,006口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,014円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,824,770,075円
 期中追加設定元本額 105,880,930円
 期中一部解約元本額 815,287,999円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8014円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は817,142,928円です。

③分配金の計算過程

項 目	2023年12月12日～ 2024年6月10日
費用控除後の配当等収益額	2,610,685円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	101,438,351円
分配準備積立金額	43,059,953円
当ファンドの分配対象収益額	147,108,989円
1万口当たり収益分配対象額	357円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2023年12月12日～2024年6月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	9,551
受取利息	11,126
支払利息	△ 1,575
(B) 有価証券売買損益	36,547,784
売買益	449,955,393
売買損	△413,407,609
(C) 信託報酬等	△ 33,083,893
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,473,442
(E) 前期繰越損益金	△675,453,273
(F) 追加信託差損益金	△145,163,097
(配当等相当額)	(101,343,362)
(売買損益相当額)	(△246,506,459)
(G) 計(D+E+F)	△817,142,928
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△817,142,928
追加信託差損益金	△145,163,097
(配当等相当額)	(101,438,351)
(売買損益相当額)	(△246,601,448)
分配準備積立金	45,670,638
繰越損益金	△717,650,469

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第14期》決算日2024年6月10日

[計算期間：2023年12月12日～2024年6月10日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、6月10日に第14期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
10期(2022年6月9日)	16,935	△ 3.8		97.1	—	28,122
11期(2022年12月9日)	18,023	6.4		99.1	—	27,458
12期(2023年6月9日)	18,868	4.7		98.0	—	25,480
13期(2023年12月11日)	18,667	△ 1.1		98.4	—	26,499
14期(2024年6月10日)	20,566	10.2		98.9	—	23,490

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
(期 首) 2023年12月11日	円 18,667	% —	% —
12月末	19,082	2.2	98.4
2024年1月末	19,761	5.9	96.9
2月末	20,620	10.5	97.4
3月末	20,821	11.5	97.2
4月末	20,530	10.0	97.4
5月末	20,354	9.0	97.4
(期 末) 2024年6月10日	20,566	10.2	97.7

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ10.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・組入銘柄 (L' OCCITANE INTERNATIONAL SA、COLGATE-PALMOLIVE CO、PROCTER & GAMBLE CO/THE) の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。
- ・円に対して米ドルやユーロなどが上昇したことが、プラスに寄与しました。

●投資環境について

◎株式市況

- ・世界の株式市況は上昇しました。
期間の初めから2024年3月末にかけては、米利下げ期待の後退などによる米長期金利の上昇が逆風となりましたが、AI (人工知能) の需要拡大が期待されたことを受け、半導体関連株を中心に株価は上昇基調となりました。その後、4月に入ってから米消費者物価指数 (CPI) の上昇率が市場予想を上回ったことなどから、米利下げ期待が後退し株価は下落に転じました。5月以降、米長期金利の上昇が一服したことや、米半導体大手をはじめとする堅調な企業決算が下支えとなり、株価は反発しました。

◎為替市況

- ・円に対して米ドル、ユーロは上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。
- ・当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。
- ・通貨別では、日本円などの比率を引き上げた一方、米ドルや香港ドルなどの比率を引き下げました。
- ・組入銘柄数については、期間の初めの35銘柄から期間末は34銘柄となりました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

高いブランド力と、ラグジュアリーブランド化粧品事業での成長も期待される「HERMES INTERNATIONAL」を新規に組み入れました。高いブランド力を誇る企業の成長性や、近年買収した複数ブランドのグローバル展開などを期待し保有していましたが、2024年4月に株式の非上場化を発表した「L' OCCITANE INTERNATIONAL SA」を全売却しました。

○今後の運用方針

- ・ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高

い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

- ・特定の肌の悩みを持つ人への価値提案を指すダーマケアは、多くの化粧品メーカーが注目している市場です。現在、肌の悩みを抱えている人が世界に約20億人もいるとされています。今後、高齢化や大気汚染、ストレスなど肌トラブルを引き起こす要因が増えることで、肌への悩みも増えると考えられます。そのため肌の悩みに合わせたダーマトロジー（皮膚科学）に基づく化粧品（ダーマコスメ）は、ビューティー市場において成長が見込まれる領域と考えています。例えば、ロレアル社は2023年、主要4事業セグメントの1つである「アクティブコスメティックス」の事業セグメントの名称を「ダーマトロジカルビューティ」に変更しました。事業セグメントの名称にはその会社の想いや戦略が込められていることが多く、ロレアル社がダーマコスメを中長期で推進していく想いが伝わってきます。ロレアル社のダーマコスメの主力ブランドであるCeraVeとラロッシュポゼは、いずれも年間売上高が10億ユーロを超えており、足元でも高い成長が続いています。日本でも、2023年に資生堂のdプログラムやロート製薬のプロメディアルが、ブランドのリブランディングやリニューアルをして活性化を図ったり、ロート製薬がダーマセプトRXという新ブランドを立ち上げたり、花王のキュレルは新商品発売などで主力のスキンケアやヘアケアを強化しつつ、加えて衣料用柔軟剤を発売するなど乾燥性敏感肌向けのトータルブランドへと歩みを進めたりと、多くの化粧品メーカーが力を入れている領域です。さらに、ダーマコスメではその効果効能や機能が重視されるため、以前に増して素材メーカーの存在感の高まりや、美容医療や再生医療などの領域への広がりも期待でき

るなど、裾野の広い成長領域として今後も注目していきたいと考えています。

- ・株式市況について、足元のようにAIや半導体が注目される局面では、世界株式市場に対して当ファンドのパフォーマンスが劣化する局面はあるかもしれませんが、それはビューティー市場の魅力に変化があったことを示しているわけではありません。ビューティー市場自体は足元でも堅調に伸びていますし、今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと発掘していきたいと考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年12月12日～2024年6月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.055 (0.055)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.017 (0.017)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2 (2)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	16	0.080	
期中の平均基準価額は、20,050円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年12月12日～2024年6月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 474 (240)	千円 626,483 (-)	千株 298	千円 669,473
	外	百株	千アメリカドル	百株	千アメリカドル
	アメリカ	1,757	11,994	6,418	28,298
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	260	2,043	310	4,141
	フランス	15	3,117	285	8,570
	イギリス	383	千イギリスポンド 1,750	414	千イギリスポンド 1,816
国	スイス	250 (-)	千スイスフラン 814 (△ 105)	250	千スイスフラン 2,697
	香港	1,482	千香港ドル 2,948	19,722	千香港ドル 62,873

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年12月12日～2024年6月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	12,956,407千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	26,749,427千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.48

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月12日～2024年6月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 9,147	百万円 187	% 2.0
為替直物取引	1,789	499	27.9	7,385	5,239	70.9

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	14,998千円
うち利害関係人への支払額 (B)	144千円
(B) / (A)	1.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年6月10日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
化学 (74.8%)				
日油	120.1		360.3	743,298
花王	132.1		117.2	789,928
資生堂	188.9		168.5	854,632
ファンケル	124.4		—	—
ポーラ・オルビスホールディングス	130.2		—	—
I n e	148.1		148.1	248,215
医薬品 (12.3%)				
ロート製薬	—		145.8	432,515
情報・通信業 (12.9%)				
アイスタイル	658.4		978.8	455,142
合 計	株 数 ・ 金 額	1,502	1,918	3,523,732
	銘 柄 数 < 比 率 >	7	6	< 15.0% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	960	660	6,199	973,392	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	686	548	6,604	1,036,920	家庭用品・パーソナル用品	
BATH & BODY WORKS INC	—	539	2,470	387,936	一般消費財・サービス流通・小売り	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	629	401	6,714	1,054,187	家庭用品・パーソナル用品	
LULULEMON ATHLETICA INC	47	89	2,851	447,667	耐久消費財・アパレル	
ULTA BEAUTY INC	249	184	7,051	1,107,156	一般消費財・サービス流通・小売り	
CHURCH & DWIGHT CO INC	402	93	1,003	157,554	家庭用品・パーソナル用品	
ABBVIE INC	139	123	2,099	329,608	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COTY INC-CL A	11,262	7,852	7,868	1,235,435	家庭用品・パーソナル用品	
INTER PARFUMS INC	187	218	2,546	399,892	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	428	249	3,637	571,183	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	678	583	3,969	623,240	消費者サービス	
ENVISTA HOLDINGS CORP	938	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
INMODE LTD	2,284	2,709	4,943	776,251	ヘルスケア機器・サービス	
ELF BEAUTY INC	193	247	4,401	691,022	家庭用品・パーソナル用品	
KENVUE INC	2,871	2,795	5,141	807,237	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	21,959 15	17,297 15	67,503 —	10,598,686 <45.1%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
HENKEL AG & CO KGAA VOR-PREF	—	260	2,198	372,117	家庭用品・パーソナル用品	
BEIERSDORF AG	659	419	6,081	1,029,174	家庭用品・パーソナル用品	
SYMRISE AG	400	330	3,638	615,701	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,059 2	1,009 3	11,918 —	2,016,993 <8.6%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	149	114	8,705	1,473,225	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	256	144	6,557	1,109,647	家庭用品・パーソナル用品	
HERMES INTERNATIONAL	—	15	3,455	584,786	耐久消費財・アパレル	
INTERPARFUMS SA	294	157	763	129,188	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	700 3	431 4	19,481 —	3,296,847 <14.0%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,760 5	1,440 7	31,400 —	5,313,841 <22.6%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	1,464	1,264	5,558	1,110,077	家庭用品・パーソナル用品	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	226	383	1,726	344,847	家庭用品・パーソナル用品	
CRODA INTERNATIONAL PLC	876	888	3,839	766,808	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,567 3	2,536 3	11,124 —	2,221,733 <9.5%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG	10	7	3,032	530,911	素材	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	57	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
AVOLTA AG	1,259	1,319	4,832	845,962	一般消費財・サービス流通・小売り	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,326 3	1,326 2	7,865 —	1,376,873 <5.9%>	
(香港)			千香港ドル			
L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	18,240	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(香港) CHINA TOURISM GROUP DUTY F-H	百株 1,624	百株 1,624	千香港ドル 10,247	千円 205,973	一般消費財・サービス流通・小売り
小 計	株 数 ・ 金 額 19,864	株 数 1,624	10,247	205,973	
	銘 柄 数 < 比 率 > 2	1	—	< 0.9% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 47,478	24,225	—	19,717,108	
	銘 柄 数 < 比 率 > 28	28	—	< 83.9% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2024年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 23,240,840	% 89.4
コール・ローン等、その他	2,761,671	10.6
投資信託財産総額	26,002,511	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(22,098,057千円)の投資信託財産総額(26,002,511千円)に対する比率は85.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=157.01円	1 ユーロ=169.23円	1 イギリスポンド=199.72円	1 スイスフラン=175.06円
1 香港ドル=20.10円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年6月10日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	28,233,916,671	
コール・ローン等	379,683,734	
株式(評価額)	23,240,840,728	
未収入金	4,590,530,313	
未収配当金	22,861,661	
未収利息	235	
(B) 負債	4,743,429,150	
未払金	2,231,429,150	
未払解約金	2,512,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	23,490,487,521	
元本	11,422,015,958	
次期繰越損益金	12,068,471,563	
(D) 受益権総口数	11,422,015,958口	
1万口当たり基準価額(C/D)	20,566円	

<注記事項>

- ①期首元本額 14,196,413,305円
 期中追加設定元本額 546,088,367円
 期中一部解約元本額 3,320,485,714円
 また、1口当たり純資産額は、期末2,0566円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	9,824,087,494円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	1,597,928,464円
合計	11,422,015,958円

○損益の状況 (2023年12月12日～2024年6月10日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	225,505,394	
受取配当金	222,689,979	
受取利息	2,797,804	
その他収益金	36,284	
支払利息	△ 18,673	
(B) 有価証券売買損益	2,488,644,711	
売買益	4,205,022,841	
売買損	△ 1,716,378,130	
(C) 保管費用等	△ 2,314,729	
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,711,835,376	
(E) 前期繰越損益金	12,303,568,840	
(F) 追加信託差損益金	483,911,633	
(G) 解約差損益金	△ 3,430,844,286	
(H) 計(D+E+F+G)	12,068,471,563	
次期繰越損益金(H)	12,068,471,563	

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。